

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(マニピュレーション&ミキシングⅢ)		担当教員名	西田 和史
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標	サウンドクオリティーのアップ。様々な音楽スタイルをマスターし作曲に応用できるようになる。またその為に必要な機材やソフトを選びコントロールできるようになる。音色だけでなく、音質や空間コントロールの表現を作品制作に取り入れられるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する時代やジャンルによる、音の違いを学び、それを再現する。そのための各機材のコントロール方法マスターする。また様々な音響特性を再現することで、聴く力を高める。 【実務経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ミックスによる音楽の変化を体験する		
2	演習	アレンジを理解し各楽器の役割や優先順位等を考える		
3	演習	アレンジを理解した音色選択と加工。様々な年代・時代のサウンドを現代の作品に取り入れる。概論。		
4	演習	アレンジを理解した音色選択と加工。様々な年代・時代のサウンドを現代の作品に取り入れる。概論。		
5	演習	パンク・ニューウェーブ。アレンジ・サウンドの幅を広げる為のシンセの使い方。時代・ジャンル・地域毎。		
6	演習	テクノ・エレクトロ、トランス、ダブステップ、フューチャーベースなど		
7	演習	スウェディッシュ、ポストロック・エレクトロニカ		
8	演習	生楽器と電子楽器の対比と融合。ミクスチャー、デジタルロック・POP		
9	演習	各パートの周波数的な棲み分けを体感し、コントロールできるようになる		
10	演習	音域や時間軸による音の分離などのコントロール方法		
11	演習	エフェクターの様々なパラメータや、回路、年代などの音色変化。		
12	演習	様々なシンセサイザーの音色比較とその使用法。		
13	演習	シンセサイザーとエフェクター、それぞれでのサウンドコントロールによる表現の違いと、コンビネーション。		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	オリジナル曲・講義内容を取り入れた練習曲制作			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教科書	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	良い音楽とは？ 作りたい作品は？ 自身の作品のクオリティーアップを徹底的に！！！！			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(マニピュレーション&ミキシングⅢ)		担当教員名	西田 和史
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標	サウンドクオリティーのアップ。様々な音楽スタイルをマスターし作曲に応用できるようになる。またその為に必要な機材やソフトを選びコントロールできるようになる。音色だけでなく、音質や空間コントロールの表現を作品制作に取り入れられるようになる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する時代やジャンルによる、音の違いを学び、それを再現する。そのための各機材のコントロール方法マスターする。また様々な音響特性を再現することで、聴く力を高める。 【実務経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエイター。1996年よりインストラクターとしても活動。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ドラムサウンドの徹底的なクオリティーアップ！		
2	演習	ボーカル・リード楽器のトラックの魅力を引き出す。		
3	演習	カーディガンズ、クラフトワーク、YMO、ELP、ビートルズなど。アウトボード、ハードウェア機器とのコンビネーション。		
4	演習	周波数の隙間を埋める！シンセサイザーでの音色加工、総合。		
5	演習	周波数の隙間を埋める！ミキシングの総合的な活用。		
6	演習	極限までサウンドをそぎ落としてみる		
7	演習	作曲を客観的に分析し、その特徴を捉える。エフェクトの総合的な使用の復習など		
8	演習	作曲を客観的に分析し、その特徴を捉える。エフェクトの総合的な使用の復習など		
9	演習	作曲の新たな魅力を探る。サウンドの分析。DAWの総合的なコントロールの復習など。		
10	演習	作曲の新たな魅力を探る。サウンドの分析。DAWの総合的なコントロールの復習など。		
11	演習	作りたい音楽のドラム・ベースサウンドの特徴を再現		
12	演習	様々なシンセの分析 基本波形の比較 デジタル回路とアナログ回路		
13	演習	様々なDAWとサンプラーの比較・分析		
14	演習	(ワークショップ)		
15	演習	(ワークショップ)		
準備学習 時間外学習	オリジナル曲・講義内容を取り入れた練習曲制作			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	3.課題 100%		
教科書 参考書	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	良い音楽とは？ 作りたい作品は？ 自身の作品のクオリティーアップを徹底的に！！！！			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック (Co-Witing)		担当教員名	北野 正人
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	301・903・606
授業の到達目標	アナログ機器を学ぶことによって、DAWがいかにかアナログのシミュレートであるかを理解でき、物理的な音楽制作の仕組みを理解することを目的とする。 音の原理を学び、飽和を理解し、音数に頼らない、よりプロとしての音楽制作ができることが目標。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ProToolsを使用。前年度で学んだ内容からのアドバンス。より決められた時間の中で、実践的にスムーズなトラック作成を学んでいきます。2年生の授業も選択可。前年度選択していなければ、2年次の授業を受けてもらいます。 【実務経験】day after tomorrow(ave trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2003ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍			
日程	授業形態	内容		
1	演習	インラインコンソールとミキシングコンソールの違いを学ぶ		
2	演習	各種パッチ、ルーティング、信号の流れを学ぶ		
3	演習	トラックング実践1(2週にわたって1曲のトラックングを学ぶ)		
4	演習	トラックング実践1(続き)		
5	演習	トラックング実践1の分解		
6	演習	トラックング実践2(2週にわたって1曲のトラックングを学ぶ)		
7	演習	トラックング実践2(続き)		
8	演習	トラックング実践2の分解		
9	演習	トラックング実践3(2週にわたって1曲のトラックングを学ぶ)		
10	演習	トラックング実践3(続き)		
11	演習	トラックング実践3の分解		
12	演習	試験と振り返り		
13	演習	試験と振り返り		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	各自、自分のセッションデータやパラデータを持参し、授業内で使用できるようにしておく 復習として授業で習ったデータ作成時の注意点等は持参のセッションに常に反映させ			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 実技試験 100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ	今までは早い段階からの機器使用を用いて、より実践的に行っていたのですが、今期からは講義を主とし、より理解度を高める方向に内容をシフトしました。 Co-Witingと書いていますが、内容はコンポーザーが行う、スタジオワーク(納品)までのプロセスを学びます。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	企画(セルフプロデュース)		担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標	セルフブランディング能力の向上。企画、プロジェクトの立ち上げから制作までをチームで行う。プロジェクト制作を進める中で、企画の重要性、目標の設定の仕方、スケジュール管理、必要な人材の確保、トライ&エラーにおける修正術、結果の検証と改善点の発見等、セルフプロデュースにおけるすべを学ぶ。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
自己実現と自己啓発をクリエイティブな観点から学ぶ。自分たちで企画、制作、実践を行う。サイトを制作しコンテンツを発信するまでを行う。 【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。				
日程	授業形態	内容		
1	演習	授業概要／成功曲線の描き方／10年スケジュール制作		
2	演習	コンペ概論／企画制作実践1		
3	演習	クリエイターについて／適正診断／企画制作実践2		
4	演習	食える1%になる方法／コンペゼミ(発注書の読み解き)／企画制作実践3		
5	演習	セルフブランディング概論／セルフブランディングチェック／企画制作実践4		
6	演習	セルフブランディングの基礎／サイト制作基礎知識、ドメイン、サーバについて／サイト制作ツール		
7	演習	サイト制作実践1		
8	演習	サイト制作実践2		
9	演習	サイト制作実践3		
10	演習	サイト制作実践4		
11	演習	サイト制作実践5		
12	演習	プロジェクトの企画&立案／企画書の立て方		
13	演習	プロジェクトの企画&立案／プレゼン形式で行う		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	企画制作のための資料探し、データの整理、人材のブッキング			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3. 課題100%		
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	失敗力を養いましょう。まずはアイデアを出し、試してみる、何度でもトライ&エラーしてみよう。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	企画(セルフプロデュース)	担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	セルフレブランディング能力の向上。企画、プロジェクトの立ち上げから制作までをチームで行う。プロジェクト制作を進める中で、企画の重要性、目標の設定の仕方、スケジュール管理、必要な人材の確保、トライ&エラーにおける修正術、結果の検証と改善点の発見等、セルフプロデュースにおけるすべてを学ぶ。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
自己実現と自己啓発をクリエイティブな観点から学ぶ。自分たちで企画、制作、実践を行う。サイトを制作しコンテンツを発信するまでを行う。 【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。			
日程	授業形態	内容	
1	演習	3ヶ月スケジュール制作	
2	演習	ビジネス作法、請求書、個人事業主としての基礎知識	
3	演習	プロジェクト制作.1(チーム作成、目標設定、行程表作成)	
4	演習	プロジェクト制作.2(打ち合わせ、楽曲制作)	
5	演習	プロジェクト制作.3(楽曲制作、HP制作)	
6	演習	プロジェクト制作.4(楽曲制作、HP制作)	
7	演習	プロジェクト制作.5(楽曲制作、HP制作)	
8	演習	プロジェクト制作.6(楽曲制作、HP制作)	
9	演習	プロジェクト制作.7(楽曲制作、HP制作)	
10	演習	楽曲を売る様々な方法	
11	演習	iTuneへの楽曲登録の仕方／流通について	
12	演習	ポートフォリオ制作1(プレゼン資料の作り方／プロフィールの書き方)	
13	演習	ポートフォリオ制作2(プレゼン資料の作り方／プロフィールの書き方)	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	企画制作のための資料探し、データの整理、人材のブッキング		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3. 課題100%	
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	失敗力を養いましょう。まずはアイデアを出し、試してみる、何度でもトライ&エラーしていきましょう。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	企画(プロダクションワークショップ)	担当教員名	小林 哲/小松 寛史
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
301・403			
授業の到達目標			
1.現場レベルで充分な対応を行えるディレクターの知識の習得、育成 2.どの分野、どの現場でも必要なコミュニケーションの重要性の確認・確立。 3.タイムスケジュール管理等の能力育成。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
レコーディングスタジオでの作業を通じ、コミュニケーション、ビジネスマナー、サウンドメイク技術を学習する。 □レコーディング作業に向けての準備 ・サイズ譜/コード譜、歌詞カード等の用意 ・演奏者、歌唱者などのブックイング ・レコーディング用データのフォーマット確認 □作業スケジュール(タイムライン)の把握&調整 □スタジオ内でのコミュニケーション、マナー技術の会得、習熟 □ミックス&マスタリングの方向性や、仕上げる目標点の設定・確認 【実務経験】 <span style="float: right;">小松 寛史</span> 寛史:株式会社テイクセブン所属。音源制作全般における業務を担当。作編曲をメインに企業へのCM・BGM・音効提供、アーティストへの楽曲提供、レコーディング業務を担当。 ・2006年 「Go Way!」倅田来未 収録アルバムがオリコンチャート1位に。 ・2016年、全国展開を行うフィットネス企業「ティップネス」社への楽曲提供において、DVD売上オリコンチャートで1位を獲得。「BAILA BAILA18」 ・既存楽曲のカバー制作 & レコーディング案件実績累計4000曲突破 ・自社配信サービス「シャナナTV」(WebTV)の事務・制作業務を担当。 小林 哲: 作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師			
日程	授業形態	内容	
1	演習	授業内の方針説明と確認。個別ヒアリングの実施。	
2	演習	学生内プロジェクトチームの結成、方向性の確定。	
3	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)	
4	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)	
5	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(進捗よってミックス作業)	
6	演習	作曲試聴会用に音源まとめ	
7	演習	試聴会での反省点、取り組むべき点を精査しフォーカスを合わせたクオリティアップ・アドバイス	
8	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)	
9	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)	
10	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(進捗よってミックス作業)	
11	演習	楽曲によっては、ドラムの録音、生演奏に差し替える等、音の質感向上を目指す。(アレンジ進捗確認など)	
12	演習	各チーム、各楽曲の進捗確認、相互フォロー。	
13	演習	前期を通じて得た情報・技術を再度見直し、フォロー&アドバイス	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	レコーディングで使用する機材(マイク・ケーブル等)のある程度の予備知識、エンジニアコースの学生とのやり取りを円滑にする為のリファレンス楽曲の準備。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 課題 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生へのメッセージ	制作現場は「何かに特化する」だけではなく、「トータルで見える」技術がとて重要になります。現場での作業を通じてその技術を身につけられる授業です。是非、積極的に自分の制作物のクオリティアップに活用しましょう。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	企画(プロダクションワークショップ)	担当教員名	小林 哲/小松 寛史
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
301・403			
授業の到達目標			
1.現場レベルで充分な対応を行えるディレクターの知識の習得、育成 2.どの分野、どの現場でも必要なコミュニケーションの重要性の確認・確立。 3.タイムスケジュール管理等の能力育成。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
レコーディングスタジオでの作業を通じ、コミュニケーション、ビジネスマナー、サウンドメイク技術を学習する。 □レコーディング作業に向けての準備 ・サイズ譜/コード譜、歌詞カード等の用意 ・演奏者、歌唱者などのブックイング ・レコーディング用データのフォーマット確認 □作業スケジュール(タイムライン)の把握&調整 □スタジオ内でのコミュニケーション、マナー技術の会得、習熟 □ミックス&マスタリングの方向性や、仕上げる目標点の設定・確認 【実務経験】 <span style="float: right;">小松 寛史</span> 寛史:株式会社テイクセブン所属。音源制作全般における業務を担当。作編曲をメインに企業へのCM・BGM・音効提供、アーティストへの楽曲提供、レコーディング業務を担当。 ・2006年 「Go Way!」倅田来未 収録アルバムがオリコンチャート1位に。 ・2016年、全国展開を行うフィットネス企業「ティップネス」社への楽曲提供において、DVD売上オリコンチャートで1位を獲得。「BAILA BAILA18」 ・既存楽曲のカバー制作 & レコーディング案件実績累計4000曲突破 ・自社配信サービス「シャナナTV」(WebTV)の事務・制作業務を担当。 小林 哲:作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師			
日程	授業形態	内容	
1	演習	本授業における実作業の確認&説明[サイズ譜の準備・ディレクション用歌詞作成の手順など)	
2	演習	正しいマイクの方・マイクの特性の説明	
3	演習	ProToolsにおける操作方法・ミックス方法の説明	
4	演習	Cubaseにおける操作方法・ミックス方法の説明	
5	演習	学生制作楽曲の技術的フォロー、アドバイス	
6	演習	講師の先生方から頂いたアドバイスを元に補正、長所向上をめざす	
7	演習	聴きやすいボーカルミックス、プレゼン用の音源提案	
8	演習	正しい音圧のあり方等	
9	演習	マスタリングが全てではなく、まずは「ミックス・素材からが重要」な点を念頭にアドバイス	
10	演習	楽曲によっては、ドラムの録音、由演奏に差し替える等、音の質感向上を目指す。	
11	演習	前期・後期の反省点、取り組むべき点を精査しフォーカスを合わせたクオリティアップ・アドバイス	
12	演習	ディレクションにおける「コミュニケーション」の重要性を再確認。	
13	演習	1年間を通じて得た情報・技術を再度見直し、フォロー&アドバイス	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	レコーディングで使用する機材(マイク・ケーブル等)のある程度の予備知識、エンジニアコースの学生とのやり取りを円滑にする為のリファレンス楽曲の準備。		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	1) 課題 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生へのメッセージ	制作現場は「何かに特化する」だけではなく、「トータルで見える」技術がとて重要になります。現場での作業を通じてその技術を身につけられる授業です。是非、積極的に自分の制作物のクオリティアップに活用しましょう。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	ビジネスマナー(著作権)	担当教員名	南山 あい
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	著作権身近に捉え、今後関わってくる事例を自ら考えられるようにする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 演奏活動している教員が今までにあった著作権に関する問題や判例を紹介しながら講義を進める。		
【実務経験】	南山先生/神戸女学院大学伴奏要員。関西二期会ピアニスト、その他市民オペラや合唱団の伴奏ピアニスト		
回数	授業形態	内容	
1	講義	音楽著作権の必要性・知的所有権	
2	講義	音楽著作権法・著作権の権利	
3	講義	著作隣接権	
4	講義	著作権・著作隣接権の保護期間・再販制度・レンタル禁止期間	
5	講義	著作権の管理・JASRAC	
6	講義	著作権条約・著作権ができるまでの歴史・輸入権問題・テスト前復習	
7	講義	中間テスト	
8	講義	中間テスト返却・著作権利用形態(演奏権、複製権、貸与権)・著作権使用料の計算 /実際にJASRACへの申請用紙を確認する	
9	講義	インターネットと音楽	
10	講義	音楽出版社	
11	講義	音楽配信/Youtube・ファイル共有ソフト/Winny	
12	講義	プロダクション・専属作家制度と著作権・楽曲のプロモート体制	
13	講義	著作権侵害・著作権の制限・テスト前復習	
14	講義	期末テストと振り返り	
15	講義	期末テスト返却・DVD鑑賞	
準備学習 時間外学習	授業内配布プリントを失くさないよう、各自保管し再確認する。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席率を重視。中間テスト・期末テストを実施。	
教材	教科書	音楽著作権(吉村 保 著)/株タマエンタープライズ	
	参考書		
学生への メッセージ	「著作権」と聞くと難しく思えてしまいますが、意外と身近にたくさん話題があります。どのように対処していけば良いのか知っていて損しない知識をお伝えします!!!		



## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	映像制作(映画撮影)	担当教員名	岡田賢二
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	903教室
授業の到達目標	映画撮影に必要な不可欠な基礎知識の習得。撮影機材及び特別機材の使用技術の習得。		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する基礎の基礎をまずは机上にて学び、その基礎をもとに実技としてショートムービーを作る。また名作と呼ばれる作品を沢山観る。その中の真似できる技術を実際にやる</p> <p>【実務経験】 カメラワーク、映画映像制作等を手掛ける</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	撮影技術の基礎	
2	演習	撮影技術の基礎	
3	演習	照明技術の基礎	
4	演習	照明技術の基礎	
5	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
6	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
7	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
8	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
9	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
10	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
11	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
12	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
13	演習	ショートムービー製作及び名作鑑賞	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	映像制作ムービーを見て、詳細におよぶ検証をする		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 実技試験 100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生へのメッセージ	すべては、自分たちだけで映画を製作するためものです。作る楽しさ、苦しさを体感して社会に旅立ってください。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	映像制作(映像編集)		担当教員名	別所順平
時間数	120	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限			教室	
授業の到達目標	映像制作は複数の人間の共同作業であることを理解し、映像編集の効果はさることながら、作品製作工程での編集の役割を理解し、共同制作者と円滑なコミュニケーションをとることを学ぶ			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する コンピュータの基礎を学び、映像関連のアプリケーションを学び、編集効果の基礎を学ぶ 講師略歴1997年映像京都で編集アシスタント(1年)「御家人斬九郎(CX)」(ラッシュ組み)等1998年より現在に至るまで株式会社キッズカンパニーでオンライン編集担当「鬼平犯科帳(CX)」「剣客商売(CX)」「首領への道(Vシネ)」「カンブリア宮殿(テレ東)」等			
回数	授業形態	内容		
1	演習	コンピュータの基礎知識、CPU,GPU,chip set,memory,OS他		
2	演習	映像規格の基礎知識、pixel,AspectRatio,frame rate,encode,decode他		
3	演習	編集アプリケーション(ダヴィンチレゾルブ)データの取り込み		
4	演習	編集アプリケーション(プレミアプロ)ラフカット		
5	演習	編集アプリケーション(プレミアプロ)尺調		
6	演習	編集アプリケーション(ダヴィンチレゾルブ)色の調整		
7	演習	画像処理(フォトショップ、イラストレーター)ピクセルベースとベクトルベース		
8	演習	アプリケーション間の横断、デジタルの利便性		
9	演習	音声処理技術への受け渡し、受け取り		
10	演習	映像規格の電気信号チェック		
11	演習	鑑賞(観客としての制作者)		
12	演習	アウトプットフォーマットの確認		
13	演習	半年間の確認		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	複数のジャンル(ドラマ、CM、バラエティー、スポーツ等)の映像作品の構造分析			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技50% 筆記40% 課題10%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	映像制作は複数人の共同作業です。コミュニケーションが大切になりますのでその手段としての言語を大切にしてください			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	放送(舞台美術デザイン)	担当教員名	あまのしげ
時間数	120	必須	配当年次
曜日・時限		教室	3年次 前期
授業の到達目標	1階 舞台美術工房		
授業の到達目標 舞台美術デザインの基礎的表現力を身につけることができる。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 1982年の活動開始より、44回にわたり個展を開催。岸和田市文化振興審議会委員、岸和田市景観審議会委員、岸和田文化事業協会理事等を歴任。大阪芸術大学、四国大学で非常勤講師を勤めた。市民講座「絵画のひみつ」を岸和田市、和泉市、豊中市、堺市などで行った。現在、毎日文化センター講師、大阪芸術大学通信教育部講師。 舞台美術デザインの基礎的演習を行う。デザイン表現に於いて、創造力、表現力と何事かへの関心度が求められる。演習課題から基礎的表現力をつけ、さらには自主的に表現することの喜びを感じ取ってもらいたい。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	授業のあらましと、評価の方法	
2	演習	ランプシェード 立体と光の構成	
3	演習	ランプシェード 立体と光の構成	
4	演習	色相環 色彩の多様な変化と想像	
5	演習	色相環 色彩の多様な変化と想像	
6	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現	
7	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現	
8	演習	物語の背景 物語を読み、その構成を立体表現	
9	演習	オブジェ 立体の表現と構成	
10	演習	オブジェ 立体の表現と構成	
11	演習	オブジェ 立体の表現と構成	
12	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化	
13	演習	ポートフォリオ 作品の整理とデータ化	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	道具の取り扱い、メンテナンスを丁寧にする		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	課題100%	
教材	教科書	なし	
	参考書		
学生への メッセージ	もの、他者、自分へ興味を持つこと。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	放送(LTワークショップ)	担当教員名	小西 弘幸
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	3年次 後期
授業の到達目標	実際の現場に於いても基礎的な要望に対応できる技術と知識を得る。 仕事に対しての理解を深める。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するオペレーターとしてのスキルを高める。自らデザインして完成を高める。仕事の流れを把握する。		
【実務経験】	株式会社マミ 一代表。MUSIC RECORDS、コヤブソニックなどを手掛ける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	授業の流れ、目的を理解する。	
2	演習	仕込み実習。仕込み図の理解。フォーカス等。	
3	演習	仕込み実習。適切な器具及びケーブルの選択、配線。	
4	演習	コンソールのベーシックトレーニング。	
5	演習	他のセクションとの作業を通じて現場的ルールや配慮、時間配分	
6	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
7	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
8	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
9	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
10	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
11	演習	アーティストを迎えてのオペレーション	
12	演習	プラン演出について	
13	演習	プラン演出について	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	前回の授業を振り返り検証する		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%。	
教材	教科書	無	
	参考書	必要時に配布。	
学生への メッセージ	失敗を恐れず様々なアイデアやテクニックを試みてください。 自ら培った知識、技術、経験、感性は最高の土台となり多くの実がつく大木へと成長します。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	照明( TV 照明)	担当教員名	中西正人
単位数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	シューティングステージ(9階)		
授業の内容	前期は、テレビ照明の基礎を学び、舞台照明との違いを明確に理解する。目指す方向性をを自分の中に捉えるように成長し、現場での理解力とスタッフのコミュニケーションの向上。		
【実務経験】	株式会社キレイ代表。サンテレビでの勤務を経て独立。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	テレビ照明の特徴と技法	
2	演習	基本照明の実習	
3	演習	スタジオ機構・設備、安全対策	
4	演習	音楽照明Ⅰ	
5	演習	読賣テレビ局の見学	
6	演習	まとめ・試験	
7	演習	ロケーション照明 室内編	
8	演習	ドラマ照明	
9	演習	CM照明	
10	演習	ロケーション照明 屋外編	
11	演習	音楽照明Ⅱ	
12	演習	音楽照明Ⅲ	
13	演習	ロケーション照明 屋外・屋内の対応	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	舞台・テレビジョン照明 基礎編 テレビスタジオの機構と スタジオ設備・テレビ照明の特徴と技法・テレビにおける照明の仕事		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	試験60%・授業態度20%・出席率20%	
教材	教科書	・ 舞台・テレビジョン照明[基礎編][技能編][知識編], 映像照明	
	参考書	日本照明家協会雑誌・(株)キレイの現場写真	
学生への メッセージ	志というものがあれば、あらゆる難関を超える力になる。情熱は身体全身から発するパワーで人の心が動く。 天才とは努力を続ける能力です。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	照明(ステージデザイン)	担当教員名	稲田智香子
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	ステージデザインの知識・技術を習得する		
授業の内容	ステージデザインの基礎を学ぶ		
【実務経験】			
株式会社スタッフユニオン所属。吉本新喜劇などのステージデザインを担当。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	〈基本ステージ〉劇場の構造・機構を知る	
2	演習	〈セットデザイン〉平面構成を学ぶ	
3	演習	〈セットデザイン〉立体構成を学ぶ	
4	演習	〈テレビセット〉平面図・パース作成	
5	演習	〈テレビセット〉制作図面の基礎を学ぶ	
6	演習	〈テレビセット〉彩色の基礎	
7	演習	〈テレビセット〉造形の基礎	
8	演習	〈コンサートステージ〉オリジナルプラン平面図作成	
9	演習	〈コンサートステージ〉オリジナルプラン制作図面作成	
10	演習	〈コンサートステージ〉オリジナルプラン制作図面作成	
11	演習	〈コンサートステージ〉オリジナルプラン模型作製	
12	演習	〈コンサートステージ〉オリジナルプラン模型作製	
13	演習	〈コンサートステージ〉オリジナルプラン模型作製	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	コンサート DVD、動画再生サイトなどでコンサート・ライブ映像などの様々なセットを観てアイデアの種をインプットしましょう。		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%。	
教材	教科書		
	参考書		
学生へのメッセージ			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	作曲・編曲(アレンジ実技)	担当教員名	小林 哲	
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する  様々なジャンルのアレンジスタイル(楽器構成、フレージング)をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ(リズム、ベース、メインのコード楽器)の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	R&B編 1、Basicアレンジ プログラミング実習		
2	演習	R&B編 1、上モノアレンジ Track完成/R&B編 2、Basicアレンジ プログラミング実習		
3	演習	R&B編 2、上モノアレンジ Track完成		
4	演習	R&B編 3、Basicアレンジ プログラミング実習		
5	演習	R&B編 3、上モノアレンジ Track完成/R&B編 4、Basicアレンジ プログラミング実習		
6	演習	R&B編 4、上モノアレンジ Track完成		
7	演習	実践編 1、Vo素材に対してのアレンジワーク実習(R&B編を踏まえて)		
8	演習	4つ打ちBeat編 1、Basicアレンジ プログラミング実習		
9	演習	4つ打ちBeat編 1、上モノアレンジ Track完成/4つ打ちBeat編 2、Basicアレンジ プログラミング実習		
10	演習	4つ打ちBeat編 2、上モノアレンジ Track完成		
11	演習	4つ打ちBeat編 3、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
12	演習	4つ打ちBeat編 4、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
13	演習	実践編 2、Vo素材に対してのアレンジワーク実習(4つ打ちBeat編を踏まえて)		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。 自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。 楽曲制作の本当の楽しさを知りたいければ、真剣に取り組んで下さい。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	作曲・編曲(アレンジ実技)	担当教員名	小林 哲
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限		必修	教室
授業の到達目標	605		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>様々なジャンルのアレンジスタイル(楽器構成、フレージング)をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ(リズム、ベース、メインのコード楽器)の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。</p> <p>【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	Basicアレンジ完成	
2	演習	Funky Groove 1 Track 完成/Basicアレンジ開始	
3	演習	Funky Groove 2 Track 完成	
4	演習	Basicアレンジ完成	
5	演習	Funky Groove 3 Track 完成/Vo素材に対するアレンジワーク	
6	演習	Vo素材に対するアレンジワーク(Funky Groove編を踏まえて)	
7	演習	Basicアレンジ完成	
8	演習	Rock 1 Track 完成	
9	演習	Basicアレンジ完成	
10	演習	Rock 2 Track 完成	
11	演習	Basicアレンジ完成	
12	演習	Pop Track 完成	
13	演習	Vo素材に対するアレンジワーク(Rock、Pop編を踏まえて)	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	<p>様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の 変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。 自曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。</p>		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%	
教材	教科書	なし	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	<p>頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。 楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。</p>		



## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	作曲・編曲(楽曲提供ゼミⅡ)	担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		選択	教室
授業の到達目標	ProToolsの基本操作の習得。マイクについての基礎知識の習得。MIXダウンにおける手法の基礎知識の習得。データ管理技術の向上。Voディレクションを通しての制作過程の習得。コミュニケーション能力向上。シンセサイザーの基礎知識の習得。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 作曲、編曲をした後の段階、録音、録音時におけるディレクション、Audio編集、ミックスダウンといったオリジナル楽曲作成の為の行程を段階にわけ、実践し覚える。Vo科とのコラボレーションを行い、オリジナル楽曲を制作する中で、スケジューリングやディレクションといったプロデュース能力の向上を計る。 【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	授業概要／ブースの使い方／PC基礎.1／学生作品試聴	
2	演習	PC基礎.2／デジタルオーディオ基礎／データ管理／ミキサー使用法	
3	演習	ProTools 基本操作／ウィンドウ、トラック各部の意味、環境設定／ショートカット／Audio編集.1 各ツールの使い方	
4	演習	Audio編集.2 サンプル素材を使つての楽曲作成(課題)	
5	演習	Audio編集.3 Mixからバウンスへの仕方／MP3への変換／課題提出	
6	演習	MIDI編集／内蔵ソフトシンセの使用法	
7	演習	マイクでの録音／プレイリストを使ったREC & EDIT	
8	演習	マイクについて／マイクの種類／リフレクションフィルターの使用／マイクの録り比べ	
9	演習	様々な楽器のマイキング／パーカッションの録音	
10	演習	AutoTuneの使い方／ピッチエディット	
11	演習	Audioインポート・エクスポート／Cubaseとの互換性／STEM制作／マルチ制作／トラックシート作成／楽曲を使つてのデータ送受信	
12	演習	Voディレクション概要／Voディレクションシミュレーション	
13	演習	Voディレクション用データ準備／デモのデータベース化	
14	演習	ワークショップ	
15	演習	ワークショップ	
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3. 課題100%	
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。	
	参考書	なし	
学生への メッセージ	Protoolsは商業音楽における共通言語となっています。ベーシックな部分は覚えてしまひましょう。		

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	作曲・編曲(楽曲提供ゼミⅡ)		担当教員名	木下 智哉
時間数	60	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		選択	教室	606
授業の到達目標	ProToolsの基本操作の習得。マイクについての基礎知識の習得。MIXダウンにおける手法の基礎知識の習得。データ管理技術の向上。Voディレクションを通しての制作過程の習得。コミュニケーション能力向上。シンセサイザーの基礎知識の習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 作曲、編曲をした後の段階、録音、録音時におけるディレクション、Audio編集、ミックスダウンといったオリジナル楽曲作成の為に行程を段階にわけ、実践し覚える。Vo科とのコラボレーションを行い、オリジナル楽曲を制作する中で、スケジューリングやディレクションといったプロデュース能力の向上を計る。 【実務経験】作詞・作曲・編曲・サウンドプロデューサー／SCOOP MUSIC所属。／2000年、エレポップ三人組ユニット「epidemic」でポニーキャニオンからデビュー。5年に及ぶユニット活動休止後、作家として活動を開始。関西を拠点に作詞、作曲、プロデュース等を手がける。／浜崎あゆみ、中川翔子、V6、NEWS、HeySayJump、AAA等の数々のアーティストへの楽曲提供やアニメの音楽制作などを手がける。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	VoRECディレクション用のデータ作成／RECのシミュレーション		
2	演習	エントリーシート回収／Voiceサンプル試聴／チーム分け／打ち合わせ		
3	演習	VoREC&ディレクション.1(レコーディング)		
4	演習	VoREC&ディレクション.2(レコーディング)		
5	演習	VoREC&ディレクション.3(レコーディング)		
6	演習	Mix基礎.1 /Mix概要/EQ基礎		
7	演習	Mix基礎.2 /Mix概要/EQ基礎		
8	演習	Mix基礎.3 /Mix概要/EQ基礎		
9	演習	Mix実践 /素材を使っのMixダウン(提出)		
10	演習	M x応用 /様々なM x技集		
11	演習	シンセサイザー基礎/シンセの歴史/サンプリングデータ作成		
12	演習	サンプリングデータからBatteryでのソフトシンセデータ作成		
13	演習	Protools基本操作チェック/結線チェック/マイク録音一連チェック		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3. 課題100%		
教材	教科書	授業時に配布するプリント各種。		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	Protoolsは商業音楽における共通言語となっています。ベーシックな部分は覚えてしましましょう。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	作曲・編曲(オーケストラシミュレートⅡ)		担当教員名	小林 哲
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	CM音楽、劇半依頼採用。ゲーム会社作曲家採用。自作曲への活用			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
<p>対位法、対旋律の使い方の習得。Popsへの応用の仕方。金管、木管各楽器の知識を習得した上での打ち込みシミュレート。ピアノ曲から小編成～大編成へのトランスクリプトテクニクの習得。フルオーケストラ、クワイアの打ち込みシミュレート。</p> <p>【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。</p>				
回数	授業形態	内容		
1	演習	2声対位法 1:2 移勢対位法の学習、練習課題		
2	演習	2声対位法 1:4 4分割対位法の学習、練習課題		
3	演習	Pf メロディーに対する Strings Quartet 伴奏 実習課題		
4	演習	2声対位法 自由対位法の学習、練習課題		
5	演習	歌モノ楽曲におけるStringsアレンジ 上級編 Into～A～B プロダクション		
6	演習	歌モノ楽曲におけるStringsアレンジ 上級編 サビ/2コーラス目以降の展開		
7	演習	楽器知識 Hr/Strings SectionnにBrassを加えた楽曲、制作実習		
8	演習	楽器知識 Tp/Strings SectionnにBrassを加えた楽曲、制作実習		
9	演習	楽器知識 Tb/Strings SectionnにBrassを加えた楽曲、制作実習		
10	演習	楽器知識 Tuba/シンフォニック Brass Sectionnメインの楽曲、制作実習		
11	演習	シンフォニック Brass Sectionnメインの楽曲、制作実習		
12	演習	シンフォニック Brass Sectionnメインの楽曲、制作実習		
13	演習	Pf曲、トランスクリプト実習課題		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	オーケストラ曲、(サントラ含む)を編成、パートの振り分け、役割分担に注目して聞き込む。オーケストラスコアの分析。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	即戦力として活躍する為に必要な知識とスキルを身に付ける為の科目です。真剣に取り組んで下さい。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	作曲・編曲(オーケストラシミュレートⅡ)		担当教員名	小林 哲
時間数	30	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		必修	教室	605
授業の到達目標	CM音楽、劇半依頼採用。ゲーム会社作曲家採用。自作曲への活用			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
対位法、対旋律の使い方の習得。Popsへの応用の仕方。金管、木管各楽器の知識を習得した上での打ち込みシミュレート。ピアノ曲から小編成～大編成へのトランスクリプトテクニクの習得。フルオーケストラ、クワイアの打ち込みシミュレート。 【実務経験】作編曲家。1998年のデビュー以降、ZARDをはじめビーイング系アーティストの編曲を数多く手がける。1999年より母校でもある大阪スクールオブミュージック専門学校にて作、編曲の講師を務め現在に至る。Steinberg 認定講師。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	2声対位法 1:2 移勢対位法の学習、練習課題		
2	演習	2声対位法 1:4 4分割対位法の学習、練習課題		
3	演習	Pf メロディーに対する Strings Quartet 伴奏 実習課題		
4	演習	2声対位法 自由対位法の学習、練習課題		
5	演習	歌モノ楽曲におけるStringsアレンジ 上級編 Into～A～B プロダクション		
6	演習	歌モノ楽曲におけるStringsアレンジ 上級編 サビ／2コーラス目以降の展開		
7	演習	楽器知識 Hr／Strings SectionnにBrassを加えた楽曲、制作実習		
8	演習	楽器知識 Tp／Strings SectionnにBrassを加えた楽曲、制作実習		
9	演習	楽器知識 Tb／Strings SectionnにBrassを加えた楽曲、制作実習		
10	演習	楽器知識 Tuba／シンフォニック Brass Sectionnメインの楽曲、制作実習		
11	演習	シンフォニック Brass Sectionnメインの楽曲、制作実習		
12	演習	シンフォニック Brass Sectionnメインの楽曲、制作実習		
13	演習	Pf曲、トランスクリプト実習課題		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	オーケストラ曲、(サントラ含む)を編成、パートの振り分け、役割分担に注目して聞き込む。オーケストラスコアの分析。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	3、課題 100%		
教材	教科書	なし		
	参考書	なし		
学生への メッセージ	即戦力として活躍する為に必要な知識とスキルを身に付ける為の科目です。 真剣に取り組んで下さい。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	卒業制作		担当教員名	北畑 俊明
時間数	180	必修・選択	配当年次	3年次 前期
曜日・時限		必修	教室	301・403
授業の到達目標	レコーディングエンジニアに求められるオペレーション能力、コミュニケーション能力、音響的知識、音楽的センスを作曲コースとのセッションで習得。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する作曲コースとのレコーディングセッションの中で、レコーディングエンジニアとしての対応能力、プロデュース能力、ディレクション能力を高める。</p> <p>【実務経験】大学卒業後、ドラマー、PAエンジニアの仕事につく。後にアルケミースタジオを設立。以後、レコーディングエンジニアを主に、レコーディングエンジニア、マスタリングエンジニア、PAエンジニア、ドラマーとして活動。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業内の方針説明と確認。個別ヒアリングの実施。		
2	演習	学生内プロジェクトチームの結成、方向性の確定。		
3	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)		
4	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)		
5	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(進捗よってミックス作業)		
6	演習	作曲試聴会用に音源まとめ		
7	演習	試聴会での反省点、取り組むべき点を精査しフォーカスを合わせたクオリティアップ・アドバイス		
8	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)		
9	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(スタジオの予定よって調整)		
10	演習	各チーム、楽曲のパートレコーディング(進捗よってミックス作業)		
11	演習	楽曲によっては、ドラムの録音、生演奏に差し替える等、音の質感向上を目指す。(アレンジ進捗確認など)		
12	演習	各チーム、各楽曲の進捗確認、相互フォロー。		
13	演習	前期を通じて得た情報・技術を再度見直し、フォロー&アドバイス		
14	演習	ワークショップ		
15	演習	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	次週授業でのREC作業に向けて、チームごとで打合せを行い、RECプランを立て、各学生がサウンドプロデュースを行い、音源を制作する。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	レポート 課題(100%)		
教材	教科書	音響設備マニュアル		
	参考書			
学生への メッセージ	いままで学んだ基本知識をより実践的、実用的に様々な現場に対応できる理論、経験、知識をみにつけてください。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	卒業制作		担当教員名	北畑 俊明
時間数	180	必修・選択	配当年次	3年次 後期
曜日・時限		必修	教室	301・403
授業の到達目標	レコーディングエンジニアに求められるオペレーション能力、コミュニケーション能力、音響的知識、音楽的センスを作曲コースとのセッションで習得。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>作曲コースとのレコーディングセッションの中で、レコーディングエンジニアとしての対応能力、プロデュース能力、ディレクション能力を高め、卒業作品を制作する。</p> <p>【実務経験】大学卒業後、ドラマー、PAエンジニアの仕事につく。後にアルケミースタジオを設立。以後、レコーディングエンジニアを主に、レコーディングエンジニア、マスタリングエンジニア、PAエンジニア、ドラマーとして活動。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
2	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
3	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
4	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
5	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
6	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
7	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
8	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
9	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
10	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
11	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
12	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
13	演習	学生個々のプロデューサーにより音源制作を行う		
14	演習	完成音源プレゼンテーション		
15	演習	振り返り		
準備学習 時間外学習	次週授業でのREC作業に向けて、チームごとに打合せを行い、RECプランを立て、各学生がサウンドプロデュースを行い、音源を制作する。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	レポート 課題(100%)		
教材	教科書	音響設備マニュアル		
	参考書			
学生への メッセージ	いままで学んだ基本知識をより実践的、実用的に様々な現場に対応できる理論、経験、知識をみにつけてください。			

## カレッジ音楽科 シラバス

科目名	業界研修		担当教員名	水島 秀樹
時間数	120	必修・選択	配当年次	3年次
曜日・時限		必修	教室	
授業の到達目標	業界で実務を通して、職業人としての身構え・気構え・心構えを習得する。			
授業の内容	業界の一員として、実務を経験する。社会人基礎力を身に着ける。 研修日誌記入を通して、実務報告をする。			
【実務経験】1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルコース、企画コースを担当。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	研修ガイダンス(研修届、研修日誌の記入について)		
2	演習	履歴書の記入		
3	演習	面接練習		
4	演習	職場でのマナー、報告連絡相談		
5	演習	業界研修1		
6	演習	業界研修2		
7	演習	業界研修3		
8	演習	業界研修4		
9	演習	業界研修5		
10	演習	経過報告面談・レポート提出		
11	演習	業界研修6		
12	演習	業界研修7		
13	演習	業界研修8		
14	演習	業界研修9		
15	演習	振り返り・レポート提出		
準備学習 時間外学習	ビジネスマナーの予習、研修日誌を記入し業務態度を振り返る			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技課題100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生へのメッセージ	憧れの職場で実務を通して「業界に喜ばれる人材」になりましょう			